

第70回 毎日書道展中国展

漢字・かな・近代詩文書・大字書・篆刻・刻字・前衛の7部門にわたり、毎日書道展の入賞・入選作品のうち、山口県を除く中国4県の作品や、全国10会場を巡回する毎日書道展役員の作品など約830点が展示された。

期日 8月21日(火)～26日(日)

会場 広島県立美術館 地下1階県民ギャラリー

■開展式

日時 8月21日(火) 午前10時～

会場 広島県立美術館 地下1階県民ギャラリー

毎日書道展中国展では830点の作品が展示された。今年は特別陳列として「上田桑鳩の書」～輝く巨星～を展示し、会場は多くの鑑賞の方々に埋め尽くされた。



開展式前会場風景



開展式テープカット

相原雨雪 中国展顧問による作品案内



毎日書道展は今年 70 回目を迎え、中国展は 40 回目となり、漢字、仮名、近代詩文書、大字書、篆刻、刻字、前衛書の 7 部門があります。毎日書道展はそのすべてを網羅した日本最大の展覧会です。役員と一般公募の作品を合わせて 30,000 点を超え、広島、岡山、鳥取、島根、4 県の審査員の先生の作品、会員、会友、受賞者、入選者を含め 830 点の作品を展示しています。

今年は特別展に、現代書道に携わった上田桑鳩の作品を展示しております。会場には作品解説もしておりますし、お子さんや中学生の方も楽しんでもらえるようにワークショップもあります。ぜひお越しください。

特別陳列 上田桑鳩 一輝く巨星一



上田桑鳩 (1899~1968) は「炎の書人」と称される情熱の書家です。「現代書道の父」と崇敬される比田井天来の門人として古典を研究する一方、書を芸術として昇華させるべく実験的な作品を多数発表し、新天地を切り開きました。

今回は広島県竹原市にある大石碑「赤齋唐崎先生碑」の拓本 (右上) や隷書作品の屏風など一般にしられていない作品を中心に紹介します。前人未踏の草原華麗な書をお楽しみください。

記念講演会・顕彰式・祝賀会

日時 8月21日(火) 午後0時30分～
会場 リーガロイヤルホテル広島・4回ロイヤルホール

記念講演会



原田康夫・広島大元学長
「健やかに老いるための知恵～書の効用」

健康であるためには「食」が大事です。そして、「趣味」を持ち続けること。運動と趣味がマッチすると長生きできます。私は原爆のあと、闇市で2枚のレコードを買いました。その1枚のオペラ「ラ・ボエーム」を聞いて音楽を学び、オペラ歌手になりました。皆さんも趣味を持って、健康にお過ごしください。

顕彰式・祝賀会

■ 顕彰式

日時 8月21日(火) 午後1時半～2時20分

会場 リーガロイヤルホテル広島 4階ロイヤルホール

■ 毎日賞記念品授与



佐藤光邦さん

■ 佳作賞記念品授与



高橋光恵さん

■ 祝賀会

日時 8月21日(火) 午後2時半～午後4時半
会場 リーガロイヤルホテル広島 4階ロイヤルホール

○昇格者紹介

会員昇格者



槇岡紫風さん 池田竹葉さん

○色紙プレゼント



大楽華雪会長の「清心」をいただいた岡本知子さん



受賞者の皆さんと一華会会員の集合写真

席上揮毫

日時 8月25日(土) 正午～

会場 広島県立美術館 地下1階県民ギャラリー

○高校生による席上揮毫(広島県立熊野高校芸術類型書道コース)

平成30年7月の豪雨で災害に遭い、尊い命が失われ多くの家屋も倒壊しました。私たちは町の復興を願い、尽力していきたくと思っています。



講評 実行委員長 原田心龍先生

楽しく書かれました。筆のタッチ・筆の特徴を生かしながら、しっかり堂々と、力強く書かれました。将来が楽しみです。

○書家による席上揮毫

席上揮毫される皆さん



毎日書道展会員の千葉幽篁さん（奎星会・一華会に所属）



草書体をベースに「春夏秋冬」を書きました。「春」は松煙墨に藍の入っている青墨で青に発色している清涼を表現しました。「夏」は暑いことを表現したく塗料で真っ黒にしました。「秋」は油煙墨の茶墨系で茶色を発色させて、秋のうら悲しさを表現しました。「冬」は、霜柱が立ったイメージで、上から踏みつぶされた構成にしてみました。

筆を変え、墨を変えて1つの作品を作ることを皆さんに紹介しました。固形墨をすって、書を味わう、楽しむ、嗜むことをしてみてください。

講評 実行委員長 原田心龍先生

書への細かいおはなし、ありがとうございました。皆さんの作品が、とても生き生きしていて、輝いていました。よく書かれました。ありがとうございました。